



TITLE:

今年初以来の彗星界 (黄道光の研究
號)

AUTHOR(S):

CITATION:

今年初以来の彗星界 (黄道光の研究號). 天界 1933, 13(149): 332-332

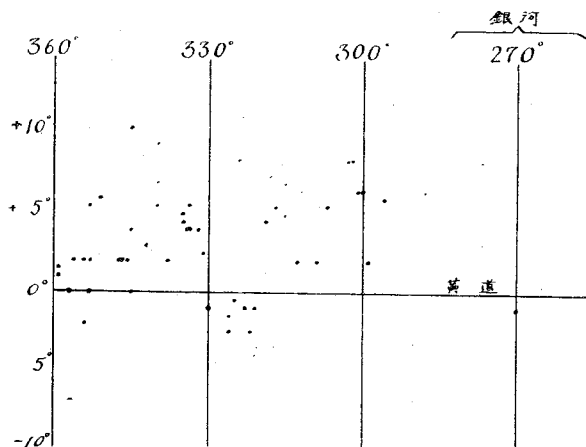
ISSUE DATE:

1933-08-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/162404>

RIGHT:



参考としました文献は花山ブレテン第179, 190, 208, 212, 227, 252の諸号であります。

今年初以来の彗星界

去る七月25日 米國リク天文臺の Jeffers 氏は第一ヲルフ彗星の歸來を赤經 $20^h 07^m 57^s$ 赤緯 $+20^\circ 40'$ (春分點 1933.0) 即ち矢座に發見した。光度は18級!! 之れは今年度の e 彗星である。

ちなみに、今年初からの彗星は下表の通り (本誌前號参照)

符號	彗星	發見者	發見日	近日迄通過
1933 a	新	L. C. Peltier (米)	2月16日	2月6日
1933 b	Winnecke	A. Wachmann (獨)	3月24日	5月18日
1933 c	Giacobini	R. Schorr (獨)	4月23日	7月16日
1933 d	新	Carrasco (西)	7月15日	?
1933 e	Wolf	Jeffers (米)	7月25日	來2月末日

但し、カラスコ彗星は、發見電報があつたきり、世界中で誰も未だ之れを確認してゐないらしい。

此の外、Finlay 彗星が歸來する筈であるが、未だ誰も見附け出さない。